

佐賀空港西側・駐屯地建設現場前で抗議行動を行っています! 9月28日の**ゲート前集会**・フェス♪の様子です!!

航空自衛隊築城基地(福岡県築上町)での日米共同訓練に反対する住民運動として、1987年に会を立ち上げ、1989年4月2日、F15配備反対の人間の鎖(2500人)以降、毎月2日を反基地行動日として、基地前で座り込みを続け、10月2日で425回となる。築城基地の動きを注視し続け、この日30代から始めた37年間の活動を振り返り、(年齢を重ねても)私はこれからも続けると話す。



築城町の住民などで作る「平和といのちをみつめる会」代表 渡辺ひろ子さん

佐賀への転任後、佐賀の自然を愛し、佐賀に住むことになる。「小城9条の会」で、毎月9日に、小城で街宣活動を行っている。会の活動を通じて、地道な平和への取り組みが続いている。この日、佐賀駐屯地建設が、おかしな経緯をたどって行われている矛盾点を指摘。佐賀県民としての行動の呼びかけは、説得力に愛情がこもる。



「小城9条の会」 染谷孝さん



平和の歌を歌い続ける ぎゃあさん

軍事基地化より、無防備都市宣言の佐賀を!!



保健所長歴任、元佐賀県議 太田記代子さん

佐賀の昔を知り、県議時代から佐賀での不穏な動きを心配してきた。佐賀弁を交えるスピーチは、健在。「こんな世の中、残していかれん」戦争を知る世代の一人であり、実感のこもる言葉で、この日も行き交う人の誰にでも声を掛け、訴えを伝える。90歳を前にした彼女の手帳は予定で一杯だった。

この日、各地の運動を紹介。7色のピースフラッグの広がりや岩国での行動の呼びかけも行った。今後各地の運動について情報が待たれるところ。



福岡から駆けつけてくれ、トークに参加の坂井さん

憲法九条が活かされるために、ジュネーブ条約で、武力攻撃が禁止される無防備地区の条件をこそ目指すべきと多方面で奮闘する。「九条の逆襲を!」と訴え行動する。

-9条実施アクション佐賀-



会代表の豊島耕一さん

文責:太田里佳子

どれだけ遠くまで歩けば大人になれるの?
 どれだけ金を払えば満足できるの?
 どれだけミサイルが飛んだら戦争が終わるの?
 ※その答えは風の中さ風が知ってるだけさ
 いつまで追っかけられたら静かに眠れるの?
 どれだけテレビが歌えば自由になれるの?
 どれだけニュースを見ていたら
 平和な日が来るの?
 ※その答えは風の中さ風が知ってるだけさ
 どれだけ強くなれたら安心できるの?
 どれだけ嘘をついたら信用できるの?
 いつまで傷つけあったら仲良くできるの?
 ※その答えは風の中さ風が知ってるだけさ
 したがって
 どれだけ風が吹いたら解決できるの?
 どれだけ人が死んだら悲しくなくなるの?
 どれだけ子どもが飢えたら
 何がができるの?
 ※その答えは風の中さ風が知ってるだけさ
 くり返し (風になろうよ!!)